

2009年9月6日

アースガーデン  
おひさま発電所が  
できました

## ●事業の概要

この事業は、アースガーデンとNPO法人きょうとグリーンファンドが協力して、京都府南丹市美山町にあるアースガーデンに、市民共同で太陽光発電設備を設置したものです。

事業費として、市民からの設置寄付金・設置協力金、きょうとグリーンファンドの「おひさま基金」、アースガーデンの資金のほか、平成21年度日本郵便年賀寄附金の助成でまかいました。

京都府地球温暖化防止活動推進センター、特定非営利活動法人KES環境機構の後援、NPO法人気候ネットワーク、NPO法人環境市民、NPO法人パーマカルチャー・センター・ジャパン、パーマカルチャー関西、日本環境保護国際交流会(JEE)、NPO法人木野環境、(南)ひのでやエコライフ研究所の協力をいただきました。

設置後も、アースガーデン、きょうとグリーンファンドが協力して持続可能な社会を目指す活動を進めていきます。

## ●発電所データ

設置場所：京都府南丹市美山町内久保

タカセ5-1

設置日：2009年9月6日

発電能力：5kW規模

発電量：約5,000kWh/年

総事業費：約629万円

寄付額：11万9千円(29件/個人・団体)

設置協力金：190万円(19口)

寄付募集期間：2009年8月15日  
～2009年10月30日

助成金：日本郵便年賀寄附金の助成  
250万円

## ●アースガーデン

施設：山里、南丹市美山町にあるアースガーデンは、2002年8月に都会から移り住んで来た家族により作られました。パーマカルチャーデザインを参考に、全体が設計されています。年間150種類以上の食べ物が収穫できる小さな有機ガーデンがあり、水が循環し、ピオトープ、雨水タンク、薪ストーブ、太陽熱温水器があります。パッシブソーラーの設計が取り入れられた建物には、地場産の木材が使われ、シックハウス原因物質も抑制されています。小さなホームカフェでは、自然派ランチやフェアトレードのコーヒーが楽しめます。

活動：環境にできるだけ負担をかけない暮らしの知恵を分かち合う活動として、海外のエコビレッジ/エコハビタの視察取材や交流、環境教育図書の翻訳や、スタディツアーを実施しています。

見学：西側のガーデンはカフェに来られた方に公開しています。一方、東半分は、プライベート居住部分のため平常は立ち入りをご遠慮いただいておりますが、学習目的に限って案内人付きで見学可能です。

(完全予約制、事前学習を含む所要時間約45～60分)



## ●特定非営利活動法人 きょうとグリーンファンド

きょうとグリーンファンドは省エネ型の暮らしと社会をめざしながら、自然エネルギーの普及活動をしています。省エネに取り組みながら積み立てた「おひさま基金」を活かして、市民参加で地域の保育園や幼稚園などに環境学習の拠点となる「おひさま発電所」をつくっています。今までに、京都に13ヶ所の「おひさま発電所」を設置しました。

きょうとグリーンファンドは「環境のために何かをしたい」と考えている人たちが、無理なく続けて参加できる仕組みで、次の世代に豊かな地球環境を手渡したいと考えています。多くの方々の参加がおひさま発電所を広げていく大きな力になります。市民共同の「おひさま発電所」づくりに、ぜひご参加ください。

## ■アースガーデン&amp;パーマカルチャー・ネットワーク

〒601-0724 京都府南丹市美山町内久保タカセ5-1

電話/FAX:0771-77-5015・0771-77-5016(カフェ)

E-mail: tree@earthgarden.jp

URL: http://www.earthgarden.jp

## ■特定非営利活動法人(認定NPO法人)きょうとグリーンファンド

〒600-8104 京都市下京区五条通り高倉西入の万寿寺町143

いづつビル6階

電話/FAX:075-352-9150

E-mail: info@kyoto-gf.org

URL: http://www.kyoto-gf.org

\*この冊子は  
自然エネルギーで印刷  
しています。



2009年12月発行

平成21年度日本郵便年賀寄附金の助成をうけました

アースガーデン 植月 千砂

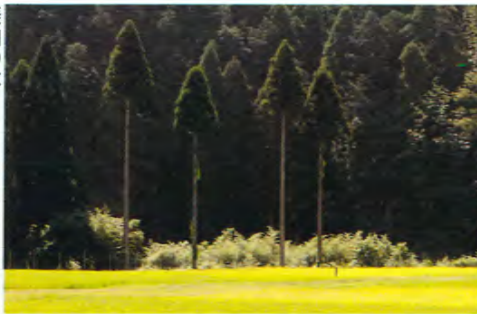
山里の小さなカフェの屋根に、太陽光パネルが設置されました。

美山町の静かな田園地帯には、太陽の光が降り注ぎ、風がわたり、山は森林に覆われ、急流が落下しています。これら全てが再生可能エネルギーを生み出すことができます。食料とともに、エネルギーの地産地消ができれば素晴らしい。これは夢物語ではありません。日本国内82の市町村が、自然エネルギー発電のみで域内の民生用と農業用電力需要を計算上満たしているそうです。(千葉大学とNPO法人環境エネルギー政策研究所の共同研究「エネルギー持続地帯」2008年版試算結果より)

私たちはここ数十年の間に、石油などの化石燃料を大量に使い、地球温暖化を引き起こしました。これらは再生不可能な燃料で、いずれは使い果たしてしまいます。また日本のエネルギー政策は、ずっと原子力発電に重点がおかれてきましたが、安心して将来世代にまで使える太陽光、風力、小水力、地熱、バイオマスのような再生可能エネルギーこそ、もっと活用する必要があるのではないでしょうか。

NPO法人きょうとグリーンファンドさんと、ご協力くださった市民の皆様、心からお礼を申し上げます。これがきっかけとなり、地元の方々やカフェに来てくださるお客様が、太陽光発電に関心を持っていただけることを願っています。

美山の木



アースガーデンのアプローチ  
新しい看板がつけられました。

太陽熱温水器  
夏の降る美山でも春〜秋に大活躍。  
夏のシャワーはほほまかなえます。



薪ストーブ  
太陽の恵みで育った木で暖をとります。  
煙突は2階の部屋も温める構造になっています。

建物  
地場木材を使った建物。  
カフェの床は、柿渋と蜜蝋ワックス  
で仕上げました。



有機自給ガーデン  
年間通して、150種くらいの収穫物を楽しめます。  
スタディツアーで学べます。



アースガーデンは、こんな設備がある施設です

里山御膳  
地元産の素材にこだわったランチ。  
食べ物は循環型の暮らしの基本です。



自給ガーデンでの収穫  
新鮮なものを食べるのと三気(まき)がたま  
です!

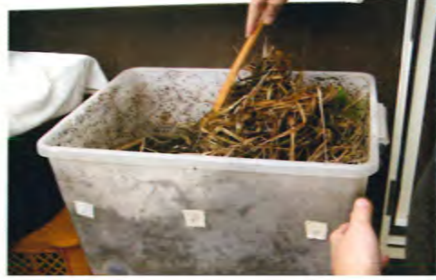
カフェ店長  
ホテル仕込みの手の込んだお料理  
をさりげなく提供。



雨水タンク  
雨水をためて自給ガーデンの水やりに使います。  
水道水を使うより省エネ。塩素が含まれていないの  
で植物も喜んでいるようです。



ミミズコンポスト  
ミミズが堆肥作りのお手伝い……。  
ベットのウサギのトイレも堆肥化され「びよん  
ポスト」になって花壇や庭木に使われます。



自然派カフェ  
思いがけないお料理の数々に感動  
です。自然と笑顔がこぼれます。

きょうとグリーンファンド 理事長 板倉 豊

アースガーデンおひさま発電所、開設おめでとうございます。省エネと自然エネルギーの普及を目指すきょうとグリーンファンドと、パーマカルチャーを目指すアースガーデンが、今回協力して京都府内13号機目が設置できたことは、画期的なことです。パーマカルチャーとはパーマ(永久)とアグリ(農業)とが合体した言葉ですが、目指すゴールは、当法人が目指す持続可能な社会と期せずして同じゴールであります。発祥の地オーストラリアで研鑽を積まれた植月さんが、その成果を美山の地で実践されることの一翼を担うことができたことは、当法人の名誉でもあり誇りでもあります。今後ともスタディツアー等のプログラムに協力し、アースガーデンが美山で環境教育活動の拠点となれることを希望いたします。



本日貸切! おひさま発電所の完成を祝う点灯式です。



寄付をしてくださった方々のお名前を記します。20年パネルは動き続けます。

点灯式の始まりです。地球環境に寄せる思いはひとつ、速くからも参加していただきました。



いよいよ点灯式!

今日も太陽光パネルは大活躍!  
発電量を表示盤が知らせてくれます。

この板はイチョウ。東本願寺の改修でやむを得ず切り倒した年代物。「東本願寺と環境を考える市民プロジェクト」からの贈り物です。



太陽の光でつくられる電気。いよいよ初めての点灯。植月さんのお顔も輝きます。

地元の方、寄付をしてくださった方、工事関係者、広報担当等「やっとここまで……」と感慨深げな顔々。

その後……

\*「おひさま発電所」の看板は、美山在住の2人の女性が手掛けてくださいました。

書家の松尾圭子さんが、おひさまをイメージした文字を墨で。木版画アーティストの野瀬尚子さんは、外看板を手彫りで。

こんな風に外看板を浅野目誠さんが取り付けてくださいました。これを目印にぜひお越しください!

